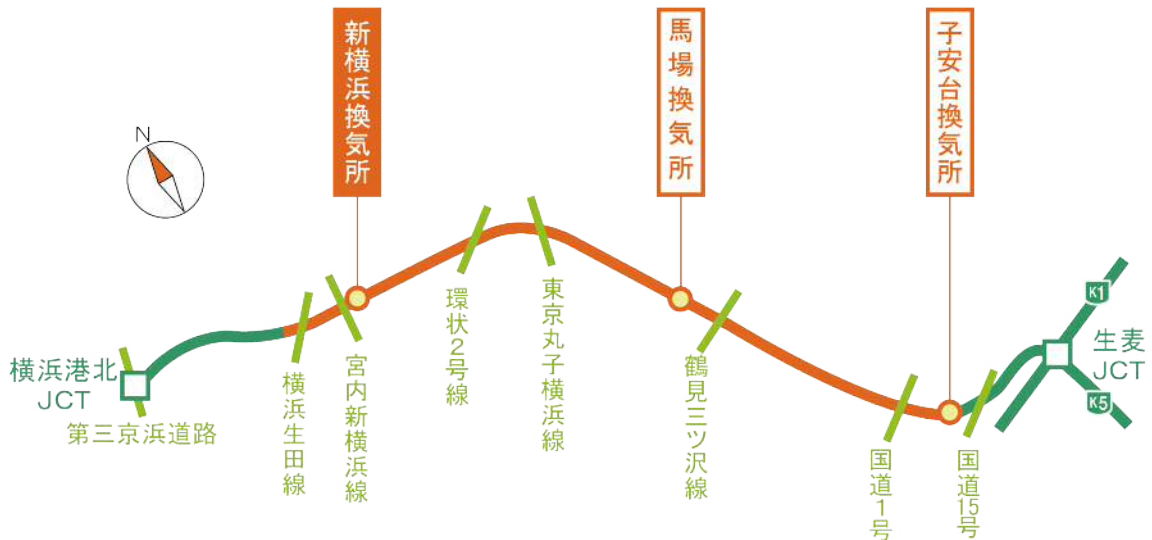


新横浜換気所



目標値（除去率）（1日平均値）：二酸化窒素（NO₂）90%以上、浮遊粒子状物質（SPM）80%以上

《 二酸化窒素（NO₂） 》

2024年

（運転時間における1日平均値）

日付	低濃度脱硝装置 入口濃度[ppm]	低濃度脱硝装置 出口濃度[ppm]	二酸化窒素(NO ₂) 除去率[%]	備考
2月1日	0.140	0.005	96	
2月2日	0.143	0.005未満	-	
2月3日	0.118	0.005未満	-	
2月4日	0.083	0.005未満	-	
2月5日	0.131	0.005未満	-	
2月6日	0.045	0.005未満	-	
2月7日	0.149	0.005	97	
2月8日	0.147	0.005未満	-	
2月9日	0.143	0.005未満	-	
2月10日	0.099	0.005未満	-	
2月11日	0.091	0.005未満	-	
2月12日	0.100	0.005未満	-	
2月13日	0.119	0.007	94	
2月14日	0.139	0.005	96	
2月15日	0.126	0.005	96	
2月16日	0.141	0.005未満	-	
2月17日	0.107	0.005未満	-	
2月18日	0.075	0.005未満	-	
2月19日	0.120	0.011	91	
2月20日	0.080	0.006	93	
2月21日	0.123	0.008	93	
2月22日	0.123	0.005未満	-	
2月23日	0.088	0.005未満	-	
2月24日	0.114	0.005未満	-	
2月25日	0.082	0.005未満	-	
2月26日	0.141	0.005未満	-	
2月27日	0.163	0.005	97	
2月28日	0.151	0.007	95	
2月29日	0.136	0.009	93	

本測定データは、測定器の故障などによる異常値が含まれる場合がありますので、後日修正されることがあります。

【 濃度について 】

- 測定器は、定期的に点検を実施しています。
- 点検時の校正値によって、測定データを補正する場合があります。
- 測定値（運転時間における1日平均値）が測定器の測定下限値（0.005ppm）未満の場合、低濃度脱硝装置により出口濃度が測定器で測定できないほど、低い濃度となっているため、「0.005ppm 未満」と示しています。

【 除去率について 】

- 除去率は、測定値から算出しています。（小数点以下第1位を四捨五入）
- 基本的な性能として、対象濃度0.05ppm~1.5ppm（1時間値）で、除去率90%以上（運転時間における1日平均値）としています。
- 除去率の「-」は、出口濃度の測定値（運転時間における1日平均値）が測定器の測定下限値（0.005ppm）未満という非常に低い濃度のため、除去率の算出ができないことを示しています。

《 浮遊粒子状物質 (SPM) 》

2024年

(運転時間における1日平均値)

日付	浮遊粒子状物質 (SPM) 除去率[%]	備考
2月1日	86	
2月2日	86	
2月3日	86	
2月4日	85	
2月5日	86	
2月6日	84	
2月7日	85	
2月8日	86	
2月9日	86	
2月10日	86	
2月11日	86	
2月12日	86	
2月13日	86	
2月14日	87	
2月15日	85	
2月16日	87	
2月17日	87	
2月18日	86	
2月19日	89	
2月20日	88	
2月21日	86	
2月22日	86	
2月23日	86	
2月24日	87	
2月25日	86	
2月26日	87	
2月27日	87	
2月28日	87	
2月29日	86	

本測定データは、測定器の故障などによる異常値が含まれる場合がありますので、後日修正されることがあります。

【 除去率について 】

- 基本性能として、除去率 80%以上 (運転時間における 1 日平均値) としています。
- 浮遊粒子状物質 (SPM) の除去率は、電気集塵機の放電電流値より算出し、機器性能の管理を行っているため、濃度は計測しておりません。

◎留意事項

計測濃度と環境基準の関係について

「環境基準は、工業専用地域、車道その他一般公衆が通常生活していない地域または場所については、適用しない (大気の汚染に係る環境基準について 環境庁告示第25号 昭和48年5月8日)」とのことから、計測したデータは環境基準と比較できるものではありませんのでご注意ください。

なお、二酸化窒素 (NO₂) の濃度測定は、排気ダクト内の低濃度脱硝装置直近で行っています。

(参考)

・NO₂の環境基準による大気汚染の評価について

「NO₂の環境基準による大気汚染の評価については、測定局ごとに行うものとし、年間におけるNO₂の1日平均値のうち、低い方から98%に相当するもの (以下「1日平均値の98%値」と呼ぶ。) が0.06ppm以下の場合には環境基準が達成され、1日平均値の98%値が0.06ppmを超える場合は環境基準が達成されていないものと評価する。(二酸化窒素に係る環境基準の改定について 環大企第262号 各都道府県知事・各政令市市長宛 環境庁大気保全局長通達 昭和53年7月17日)」

計測結果についてのお問合せ先

首都高速道路株式会社 神奈川局 調査・環境課

TEL. 045-307-0531